環境パートナーシップちば だより
— つながれ ひろがれ —
Vol.５５

編 集 環境パートナーシップちば
代 表 加 藤 賢 三
事務局 千葉市中央区中央港1-11-1
(財)千葉県環境財団環境技術部
環境活動推進ﾁｰﾑ
電 話 043－246-2180
ＦＡＸ 043－246-6969

平成１９年度定期総会開催

～これからの 10 年～

≪第一部　総会≫

5 月 13 日(日)、浦安市市民活動センター会議室にて、「環境パートナーシップちば」の平成 19 年度の定期総会が開催されました。

広田由紀江氏の司会で始まり、代表の加藤賢三氏より挨拶の後、千葉県環境生活部環境政策課副技監(兼)温暖化対策推進室長　渡邉　等氏、千葉県環境財団環境管理グループ、千葉県温暖化防止活動推進センター事務局長山口幸一氏よりご挨拶いただきました。

その後、議長に土田茂通氏、書記に石川好隆氏が選出されました。平成 18 年度事業を加藤賢三氏、収支決算を桑波田和子氏、会計監査報告を大西優子氏より報告がありました。18 年度は助成金事業や、千葉県環境づくりタウンミーティング等、活発に活動した様子が報告から見られました。次に、平成 19 年度事業計画（案)、予算(案)、規約改正（案)、役員改選（案）の提案があり、質疑応答となりました。

規約改正では、環境パートナーシップちばの設立宣言文を掲載することで、ネットワークの主旨が伝わるとの意見が出されました。組織は、運営しやすい体制づくりということで、代表、副代表、事務局、事業部、広報部、会計監査、アドバイザーとグループ化し承認を頂きました。

今後の検討事項として、・相談窓口の設置・会員の活動紹介、活動調査・HP の充実・会費回収率の向上等が、出されました。この課題を持って 19 年度の活動に反映させたいと思っています。

≪第二部「千葉県の環境学習の推進体制」についてのワークショップ」≫

18 年度は、「循環型社会を考えるタウンミーティング」に始まり、千葉県環境づくりタウンミーティング（「環境基本計画」「環境学習基本方針」「環境再生基金」「生物多様性千葉県戦略(仮称)」）が盛んに開催されました。現在は市民参加型の策定に向けた動きが進んでいます。当会でもタウンミーティングに実行委員として参画してきました。第二部では、コーディネーターに千葉県環境研究センター企画情報室　小川かほる氏をお願いし、環境学習基本方針を推進するための「ちば環境学習ネットワーク会議」と当会の役割について、ワークショップを行いました。

わずか 1 時間のワークショップでしたが、学ぶ人と支援する人をつなぐコーディネーターの役割の必要である。コーディネーターの役割は、具体的に①ニーズを探す。②提供できる具体的な提案（プログラム）できるものを持っている等意見が出ました。

当会の係わりとして、①使命感を持っている人(地域等)の掘り起こし。②コーディネーター育成に協力する。③相談コーナー(情報、教材、場等)の設置。これらの意見を通して、当会として、県との協働提案事業を申請するということになりました。　(文責　桑波田)

環境パートナーシップちば総会挨拶

千葉県温暖化対策室長　渡邉　等

皆様こんにちは。環境パートナーシップちば設立満 10 周年の総会にお招きいただき有り難うございます。県の立場でご挨拶させていただきますので多少堅苦しくなりますがお許し願いたいと存じます。

まず、環境パートナーシップちばの活動が 10 年の永きにわたり続いたことに敬意を表するとともに、この間の環境保全活動や普及啓発に対するご努力に対しお礼申し上げます。また、今後とも県と協働して活動していただければ幸いです。挨拶文のひな形のような話し方ですが、心からそう思っております。

さて、貴重な時間ですので、今年、県環境生活部が力を入れる取り組みについてお話しさせていただきます。

まず、1 点目ですが、地球温暖化問題があります。昨年こつこつダイエット計画を作りまして、10 の重点事項を掲げました。今年は、県下全域を対象にキャンペーンを張りたいと考えております。ご協力をいただければありがたく思います。

２点目としては、環境学習の充実があげられます。今、まさに環境学習基本方針の素案を NPO の皆さんと協働して作り上げ、これからパブリックコメントに入るところですので、ご意見をたくさん寄せていただければと思います。

昨年、湖沼浄化対策を担当し、湖沼水質保全計画を作り上げる中で印旛沼、手賀沼の浄化に力を入れている環境団体の方達と話し合う機会を持ちましたが、印旛沼環境団体連合会、美しい手賀沼を愛する市民の会、ともに２０近い NPO の団体が集まり共同して地域の問題に、実際に汗を流して取り組んでいることに感銘を受けました。

個人的な考えで思い過ごしかもしれませんが、得てして、日本の団体は分裂しやすい傾向があると思っています。その原因は、勢力争いであったり些細な意見の相違だったりします。

市民レベルで力を持ち、地域を変えていくためには、一致団結して大きな目的のために多少の違いは許し合うというか、認め合う度量がないといけないのではと考えます。
生物多様性ではありませんが、意見の多様性を許容し、理解し合うことが必要と思います。

そのような意味で、「環パちば」さんが、文字通り各団体のパートナーシップを築くために、さらに続けて活動していかれることをお願いしまして、簡単ですがご挨拶とします。

千葉県環境財団環境管理グループ
千葉県温暖化防止活動推進センター事務局長　　山口　幸一

ただいま、ご紹介にあずかりました。千葉県環境財団「環境管理グループ」の山口です。
本来ならば、当財団の理事長の髙橋がご挨拶いたすべきところですが、本日、所用のため、私が代理とさせていただきます。

千葉県のホームページで「持続可能」をキーワードに、検索しますと 475 件ものヒットがございました。たとえば、持続可能なまちづくり、持続可能な森林、持続可能な県土作り、持続可能な社会、持続可能な農林業など、県では、「持続可能な」をキーワードにさまざまな施策が行われています。

環境パートナーシップちば様におかれましては、千葉県内で活動している個人、団体が企業と行政の連携を図りながら、千葉県が推進している持続可能な社会の実現に向け行動しています団体とお聞きしております。

皆様方が果たす役割は、ますます重要になってきているなと感じております。
また、設立当初から当財団とは係わりが深く、今も、当財団に事務局を置くなど、千葉の環境について当財団と協働で取り組んでおるところでございます。
当財団といたしましても、今一層の、協力と支援をおこなって行きたいと考えております。
「環境パートナーシップちば」様のますますのご発展、ご活躍を祈念いたしまして、簡単ですが、挨拶にかえさせていただきます。

環境パートナーシップちば　代表　加藤　賢三

皆様こんにちわ。環境パートナーシップちばの加藤です。環境パートナーシップちばは今年で１０周年を迎えることになりました。今日は、千葉県、環境政策課の渡辺様、千葉県環境財団の山口様にもお越しいただき、まことにありがとうございます。当会は環境シンポジウム‘９５千葉会議をきっかけに１９９７年に設立され、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民の緩やかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政、企業および専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的とするネットワークです。現在、１７０名ほどの会員(個人１３０名、団体３７、企業１)にご参加いただいています。今年は記念の年でもあり、従来の事業、たとえば「印旛沼をきれいにする活動」などの継続に加え、県内各地で活動されている方々をお招きしての「環境パートナーシップフォーラム」の開催を予定しています。

また、今年は温暖化防止に向けた取り組みも急務になってきており、日々のライフスタイルの見直しの時でもあります。千葉県では、昨年は環境づくりタウンミーテイングが盛んに開催されました。そして、現在も、環境基本計画、環境学習基本方針、環境再生、生物多様性千葉県戦略(仮称)などの見直しや策定など目白押しです。

また、今日の総会の第２部として、千葉県の環境学習・環境教育の推進のワークショップが予定されていますので、そこで、環境学習の推進体制と当会の役割などを議論していただければ幸いです。

最後になりましたが、「新たなパートナーシップづくりへ」と発展するためには、パートナー(各主体)を探し、結びつけ、相互理解を促進するための情報の提供と発信、コーディネーターづくり、場づくりが必要なのではと思います。

県民参画の環境学習基本方針素案説明会を開催しました！

学習基本方針をつくろう会実行委員　横山清美

環境学習基本方針をつくろう会

平成 18 年年 11 月から 12 月にかけて県内 20 箇所で開催された千葉県環境づくりタウンミーティング（以降ＴＭと省略）のＴＭ総括大会が 12 月に開催されたことは、栗原さんより「だより 53 号」でご報告していただきました。

今回は、主に千葉市や松戸市などの 3 箇所のＴＭで意見交換された環境学習基本方針について積極的に県民参画してきたご報告をさせていただきます。

３箇所のＴＭの開催責任者が実行委員となって千葉県から出された素案（たたき台）について意見を交換するＴＭ「環境学習基本方針をつくろ

う会」を松戸市（3月18日　31名参加）千葉市（3月21日　39名参加)で開催いたしました。

ここで出された県民意見を言いっぱなしにしないために、ＴＭの最後には作業部会及びネットワーク会議準備会設置のための準備会を提案したところ、18名が手を挙げて下さいました。この18名県民とＴＭ実行委員の県民6名県職員6名が「環境学習基本方針をつくろう会」を結成し、これ以降週1回の会議を開いて素案作りをしました。この方針素案の大きなポイントは、県と教育委員会の共管であることと、ネットワーク会議を立ち上げて、PDCA を回しながら環境学習を推進していく体制まで方針としていることです。

出来た方針素案にもっと県民意見をいただくため、県がパブリックコメント（5月17日～6月6日）を実施しています。「環境学習基本方針をつくろう会」では、みんなの力でより良いものにするため素案作りの経緯から素案を県民に説明をすることが重要だと考え、5月26日から6月2日まで県内5箇所（千葉市、佐倉市、鴨川市、船橋市、松戸市）で（１３３）名の参加者を得て「環境学習基本方針素案説明会」企画し実施いたしました。

今後は、パブリックコメントの意見を基本方針素案に反映させ基本方針を策定する作業部会と9月初旬には平成 20 年度事業計画案が県に提案できるように「ネットワーク会議」を立ち上げる準備に入っています。ネットワーク会議には、家庭、地域団体・NPO、学校、事業者、行政が入るような推進体制にはなっていますが、まだ共有された形はありません。ネットワーク会議で決定された事業計画案を素に県の予算案に反映させるようなしくみは、難問ではありますが、みんなの力で創りあげていくことが大切と感じています。「環境パートナーシップちば」としてもネットワーク会議応援策を提案していますので、皆さんも参画をよろしくお願いいたします。

親子で・お友達と、夏休みの自由研究に・・・と、印旛沼博士をめざしませんか！

印旛沼をきれいにする活動

印旛沼をきれいにする活動

☆ みて！・・・・・・・・・・・私達の飲む水はどこで作られ、どこに流れるの？
☆ さわって！・感じて！・・・・川の学校開催
(印旛沼流域の川で、水調べ・生き物調べ・ごみ拾いなど)
☆考えて！・・・・・・・・・・・　どうすれば印旛沼の水はきれいになるのかな？

《主旨》

印旛沼は、飲み水として使われている湖や沼の中で、ワースト１の水質です。
「環境パートナーシップちば」は、このことをみんなに知ってもらうために、印旛沼を見て・さわって・感じて・考えてと、活動して来ました。
19 年度も引き続き、印旛沼流域で地域の小・中学生の親子を対象に、生き物調べ・ごみ拾いなど体験する「川の学校」を開催して、印旛沼をきれいにする活動を展開します。また、流域で活動している団体の交流と発表の場を開きます。
そして、次世代を担う子どもたちと一緒に継続的に環境の再生・保全に勤め、環境学習プログラムを作成します。これらの活動は、環境活動団体、当会会報「だより」、など掲載し発信します。また、「エコメッセちば」や「環境シンポジウム千葉会議」、「印旛沼わいわい会議」、各市町村の環境イベントなどに参画・協力・発表します。

A.「夏休みおやこ体験活動」～印旛沼流域で展開～
※活動できる日を参加者で決めていただきます。
〔手繰り川〕
〔神崎川〕
〔二重川〕　　※参加体験グループ募集中です。
〔鹿島川〕
〔印旛沼〕

手繰り川⇒7 月 8 日(土)
「手繰り川の生き物調べ」
時間：午前 9 時～15 時
場所：手繰り川
参加費：100 円

★　ちばしエコ体験スクール(花見川区)
「発見（はっけん）！探検（たんけん）！花見川！」
日時：8 月 28 日(月)
場所：大和田排水機場、花見川、花島公園センター
対象：小学生 40 名(花見川区)
※　スタッフ募集！

B.「印旛沼流域子ども会議」
流域で活動しているグループ集合！！
日時：　10 月 14 日(日)
会場：　未定

C.「花見川から印旛沼までのエコウォーキングパートⅡ」
～東京湾から花島橋まで～
日時：12 月 1 日(土)　9:30～15：30

✿京葉地区ガールスカウト
「チーム－6 パーセント　私たちにもできること？さがし！」
日時：10 月 28 日(日)午前 9 時～午後 3 時
場所：花見川、大和田排水機場

D.　「第 3 回印旛沼流域フォーラム」
日時：　1 月末予定
会場：　未定

★　ちばしエコ体験スクール委託事業
✿　京葉地区ガールスカウトとの共催事業

『　環境学習雑感　』

環境カウンセラー　小関　光二

１、はじめに

ボランテア活動として、環境学習をはじめて今年で５年になります。まだ々々未熟者ですが、私の人生経験と５年間のボランテア活動から、私の環境学習に対する考え方をご披露いたします。

２、環境学習は生涯学習

社会に環境学習を定着させるためには、従来の学校教育以外に生涯学習の１つとしての環境学習が必要であるとの考え方には論を待たない。大人から子供までの生涯の中で、どんな機会であれ、環境を学習する必要があると思っています。それはなぜだろう。それは、
環境保全が、総論賛成、各論無関心という現象に現れているからです。

最近やっと環境ビジネスやエコライフがステータスなどの現象があるもののまだまだです。人間は悲しいもので、よっほどの痛みを味わらない限り反省したり、認識を変えたりしないものです。例えば、太平洋戦争の敗戦です。最後は、生き方の問題にいきついてしまう。生涯学習の所以です。

３、環境学習の仕方には定型はない

以上の認識を基に、どのような環境学習を行ったらよいか。考えてみると非常に難しいと思う。個人の認識が変わらなければ、社会も変わらない。逆に、社会も個人に影響を及ぼしている。環境問題を考えるとき、常に社会のありようが関係していると思う。例えば、地球温暖化防止に対する各国のバラバラな考え方でも分かる。

他の学問は、真理探究の１点で一致し（経済学は少し疑問）若年時に成し遂げられる。環境学というのはあまり聞かないけれど、他の人を教えて、学ぶことは他の学問に似ている。私は、環境学は、学問ではないと思っている。したがって、学者の専売特許ではない。
環境保全が必要と認識している人が、自分の経験に基づいて学習会を行えばよいと思う。定型なない。

４、環境学習に入れるべき要素

定型がないといえども、社会とのかかわりがあることから、ただ、技術的側面のみを学習するのでは、認識を変えて行動を起こすのには、不十分と思う。やはり、①自分たちの幸せとよりよい社会にしていくためという大前提を理解してもらわなければならない。残念ながら、社会学では、環境問題までは取り上げてくれない。そのためには②地球の仕組みと現在人間が存することへの感謝の気持ちを持つこと、③として、人間は、集団社会の中でしか生きられない動物であること、④として、人間は他の生物の命をもらって生きていることから感謝の気持ちが大事で、おごってはならない、ことなど、日常生活では気ずかないことを、気づかせるような要素を入れるべきだと思う。

５、環境学習は体験主体

以上、を考慮しながら、環境学習会を行っていく場合、やはりちゃんと身に付くためには、世の指導者が主張するように、体験を入れながら学習することが、効果的と思う。平たく言えば、五感をフルにつかって、学習することである。当たり前のことではあるが、人間は、頭だけで考えて行動すると適正な判断ができない。五感を磨いて初めて正常な判断ができる精神が形成されると思う。経験が大事な所以である。

６、環境学習は啓蒙活動

最後に、一番大事なことであるが、環境学習を実施することは、啓蒙活動と位置づけることである。したがって、生涯学習の機会をいかにして、捉えていくかという問題に突き当たる。環境学習をボランテアでやりたい方は沢山いると思う。しかし、環境学習をやるから集まってくれといってもそうは行かないのが現実である。集まってくれる方は、既に 50%以上環境問題に理解を持っている方だと思う。無関心層をいかに啓蒙するかが最大で最重要課題である。この問題を真剣に検討することが、国、県、市町村の責務だと思う。、環境カウンセラー、環境学習アドバイサー、地球温暖化防止活動推進員などにお任せというわけにはいかない。この点を深く掘り下げていくことが、環境学習推進の鍵である。　色々方法はあると思う。学校、特に小学校、中学校は義務教育故、環境学習には参加してくれる。ただ、進学を優先し、中学校や進学高校はおろそかになっているように思う。

社会人は、どのようにしたら感心をもらえるか。リタイヤーした方は、何とか考えられるが、現役組はどうしたら関心をもってもらえるか皆で考えて行きたい。

１つの例として、アメリカの元副大統領ゴア氏の世界をめぐるキャンペーンには、頭が下がる。このような影響のある方が、啓蒙活動をしてくれると効果的だと思う。日本の政治家にはいないのが残念に思う。環境が票につながらないのが原因のようだが、これでは人間の本来のあり方（人間性）と逆ではないかと思う。

環境活動イベントいろいろ

※詳細は主催へお尋ねください

行事名	内容	主催	場所	期日
環境教育ワークショップ「持続可能な社会のための教育」	持続可能な開発のための教育の取り組みが国の内外で始まっています。この教育には何が必要か、皆さんと共に考えます。	千葉県立中央博物館	千葉県立中央博物館会議室	6月23日
２００７ちばし環境フェスティバル	フェスティバルを開催し,「環境月間」及び「環境の日」を広く市民に広報するとともに環境保全活動の普及啓発を図る。 内容：①記念講演会②環境コンサート③行政による環境活動の展示発表並びに普及啓発活動④「ちばし手作り環境博覧会」	千葉市活動発表実行委員会	千葉市文化センター	6月5日
第１５回いちかわ環境フェア	「もっと２考えよう。未来のこと」をテーマに市民ボランティアによるイベント等 市民団体、企業、行政による環境全般に係るイベント、活動報告及び情報提供を行う。 今年は、10年前の第5回環境フェアで「１０年後のまちや地球を想像して市内の小中学生が書いて埋めたタイムカプセル『未来へのメッセージ』」の掘起式を行う。	市川市	市川市動植物園	6月16日
船橋市環境フェア	パネル展示、体験コーナー、エコ商品の展示など	船橋市環境フェア実行委員会	船橋市中央公民館	6月9日～10日
谷津干潟の日行事	講演会、自然観察会、作品展、市民クリーン作戦などのイベントを開催する。	谷津干潟の日実行委員会、習志野市	谷津干潟自然観察センター	6月9日～10日
エコフェアいちはら	環境保全の啓発活動【各種団体の環境保全活動の展示・実演、スタンプラリー、低公害車の展示、フリーマーケット、環境保全推進絵手紙展の全応募作品の展示、市環境部による展示　等】	市原市	市原市市民会館	6月23日
市民環境展	体験講座、エコバザー、展示	環境団体、鎌ヶ谷市	鎌ヶ谷市役所	6月下旬
暮らしと環境を考えようIN袖ヶ浦	市民・事業者・行政が一体となって環境保全活動を啓発・推進する。【環境団体等の活動紹介、環境にやさしい商品の展示販売、古紙等の回収、低公害車の展示等】	袖ヶ浦市	袖ヶ浦市民会館	6月16日
フリーマーケット	不用品の再利用を促進するため公募市民によるフリーマーケットを開催。	柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会	柏市リサイクルプラザリボン館	6月17日
浦安市環境フェア	テーマ「地球にやさしいライフスタイル～できることからはじめよう」記念アトラクション、展示、参加体験、物産展、クイズラリーなど	浦安市	JR新浦安駅前広場	6月23日

運営委員会だより

4月運営委員会議事録

日時：19年4月11日(水)　午後6時～9時
場所：浦安市市民活動センター

報告事項

1）印旛沼あっぷPT会議
2）環境学習基本方針を作る会
3）エコメッセ連絡調整会議
4）だより54号印刷、発送
5）ちばし環境フェスティバル活動発表実行委員

協議事項

1）千葉市手作り環境博覧会
・当会は実行委員会に参画し、展示出展する。
2）京葉地区ガールスカウト活動
・10月か11月に活動予定。
環境学習をマネージメントで協力する。
3）総会について

4月27日運営委員会議事録

日時：19年4月27日(金)　午後6時～9時
場所：船橋市民活動センター

報告事項

1）環境学習基本方針を作る会
2）ちばし環境フェスティバル活動発表出展
3）京葉地区ガールスカウト活動

協議事項

1）だより55号について
2）エコライフちば取材
・千葉市より取材予定。6月末発行。
3）千葉市千草台公民館講座について
4)印旛沼環境基金申請について
5）NPO協働事業提案
6）5月パートナーシップエコサロン
7）総会について

お知らせコーナ

★6月パートナーシップエコサロンご案内★

挑戦！焼却ごみ1/3削減
～環境と資源、次世代のために今できること～
日時：6月28日（木）　午後6時30分～8時30分
会場：千葉市市民活動センター　会議室
会費:500円(資料代)
話題提供：　鈴木　武則　氏
千葉市環境総務課　ごみ減量推進室長

千葉市では、千葉市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画を、策定しました。
計画期間は、平成19年～28年度まで。これこそ、市民･事業者･市の協働が必要とされます。
今回は、千葉市環境総務課の鈴木氏からの説明をお聞きします。
千葉市内の方はもちろん、他市の方のご参加もお薦めです！ごみについて、おおいに語りましょう！！

広報部より
※皆様の活動やお知らせなどの原稿をお寄せください。
担　当：広田　Tel&fax：047-381-8163　Mail：　hirotayukipon@jcom.home.ne.jp

「環境パートナーシップちば」は、環境活動の推進と充実を目指し、千葉県内の環境市民のゆるやかな連帯のもと、相互の情報交換と交流を深め、行政および専門家とのパートナーシップによる活動の展開を図ることを目的としたネットワークです。
入会申込先：千葉県環境財団　環境技術部
環境活動推進ﾁｰﾑ気付
TEL:043-246-2180　FAX:043-246-6969

会費納入先：環境パートナーシップちば
郵便振替口座　00160-9-401872

千葉県環境財団　環境技術部　環境活動推進ﾁｰﾑ気付

＜環境パートナーシップちば＞
入会申込書

会の趣旨に賛同し（個人、団体、賛助会員として）
会費を添えて（郵便振替）入会します

氏 名		入会年月日	
住 所	〒		
ＴＥＬ		ＦＡＸ	
年会費	個人1,000円　団体2,000円　賛助会員5,000円		